

令和4(2022)年度										年間授業計画									
教科・科目			国語 言語文化				2		単位										
対象学年・組			1年生				必修												
教科書 (出版社)			言語文化(大修館書店)				要点プラス体系古典文法(数研出版)												
学習目標 【観点別】			○古典・現代小説に親しみ「読むこと」において必要なきまりを理解させ、文章に親しむ態度を育成する。【知識及び技能】 ○「読むこと」において文章に表れている内容を理解し、批評したり評価することができる。【思考・判断・表現】 ○言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとしている。【主体的態度】																
学期		予定 時数	単元 具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		話 聞	書 き	読 み	知 識	思 考	態 度					
1	前半	12	古文に親しむ 宇治拾遺物語 「児のそら寝」 言葉の紡ぐ世界 「羅生門」		・物語の展開をとらえ、はなしのおもしろさを味わう。 ・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。		【知識及び技能】知(2)ウ・知(1)イ ・古典を読むために必要なきまり、表現の表について理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考・判断・表現】B(1)イ ・「読むこと」において文章の種類を踏まえ内容についての確にとらえている。 【主体的態度】 ・作品に興味を持ち、話のおもしろさや人物の心情の変化などをとらえようとしている。		○	○	○	○	○	○					
	後半	12	自然へのまなざし 枕草子 「雪のいと高う降りたるを」 表現の多様性 「夢十夜」		・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。 ・作品に興味を持ち、作品の表現に着目しながら読む。		【知識及び技能】知(1)ウ・知(2)カ ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文化的背景について理解を深めている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】B(1)ウ ・「読むこと」において文章の構成や展開、表現のしかたの特色などについて評価している。 【主体的態度】 ・作品に興味を持ち、自然の情景に対する作者の作者の感覚や作品の特色に注目しながら読もうとしている。		○	○	○	○	○	○					
2	前半	14	漢文に親しむ 「私たちと漢文」 表現の多様性 「良識派」		・漢文と我が国の言語文化の関わりについて関心を持ち、漢文訓読の決まりを理解する。 ・風刺、寓話としての表現を理解する。		【知識及び技能】知(2)ウ・知(2)ア・知(1)エ ・古典の世界に親しむために必要な訓読のきまりを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や外国文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】B(1)ウ ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【主体的態度】 ・漢文の学習に興味を持ち、我が国の言語文化の関わりについて関心を持っている。		○	○	○	○	○	○					
	後半	14	人との交わり 伊勢物語「筒井筒」 日本と世界 「外国語の不思議・日本語の不思議」		・物語中に表された古典世界の恋愛・物語のあり方をとらえる。 ・日本語と外国語の特徴をとらえる。		【知識及び技能】知(2)ア・知(2)ウ ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】B(1)エ B(1)イ ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的態度】 ・作品に興味を持ち、歌に込められた心情や恋愛・結婚のあり方をとらえようとしている。 ・日本語と外国語の特徴に興味を持ち、日本語をあらためて見つめなおしている。		○	○	○	○	○	○					
3		18	旅と人生 土佐日記「門出」 文学と人生 「セメント樽の中の手紙」		・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。 ・会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する。		【知識及び技能】知(2)エ 知(1)ウ ・古典の世界に親しむために作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】B(1)ア B(1)エ ・「読むこと」において作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて内容の解釈を深めている。 【主体的態度】 ・作品に興味を持ち、時代背景と登場人物の状況や心情を理解する学習に意欲的に取り組んでいる。		○	○	○	○	○	○					
評価の観点 (評価基準)			○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 ○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について対する理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○「読むこと」において作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ内容を解釈し、批評したり評価したりすることができる。																
評価の方法			定期考査、小テスト、提出物、授業態度等により評価																
学習の手引き			○日々の学習を大切にし、授業に積極的に参加すること。 ○我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 ○他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																
授業担当者			松岡杏沙子・田中達夫																